

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年2月19日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【地震影響による既設淡水化装置ユニット3の洗浄排水主配管とドレン配管融着部からの水の滴下について】 当直員が地震発生後のパトロールにより、既設淡水化装置ユニット3の洗浄排水主配管とドレン配管の融着部から、約1秒に2～3滴の水の滴下を確認。 当該部の隔離を実施し、滴下が減少したことを確認。 滴下した水は養生内に留まっており外部への流出はない。地震により、洗浄排水主配管とドレン配管の融着部に応力が集中したことで、水の滴下が発生したと推定。 滴下した水の回収および当該部の袋養生を行い、滴下下部に受け皿を設置。 洗浄排水主配管は、他の洗浄排水主配管が使用可能なため汚染水処理への影響はない。 今後、再発防止対策を検討予定。</p>	GⅢ	2月14日
2	<p>【5号機 タービン建屋2階東側天井からの雨水浸入について】 当直員のパトロールにより、5号機 タービン建屋2階東側天井(ポンプエリア移送排風機HVE5-22上部)のルーフドレン貫通部より、雨水の浸入を確認。 原因は、2月13日発生地震の影響により、天井とルーフドレン貫通部の防水処置が破損したものと推定。 雨水浸入および滴下個所の養生を実施。 ポンプエリア移送排風機他の機器への影響がないことを確認。 今後、点検修理予定。</p>	GⅢ	2月15日
3	<p>【大型機器点検建屋給気ファン(C)プレフィルタ損傷による過負荷自動停止について】 当社社員が地震発生後の点検において、大型機器点検建屋給気ファン(C)のプレフィルタが損傷し、当該給気ファンが過負荷により自動停止していることを確認。 原因は、地震の影響によりプレフィルタ本体のメッシュが脱落し、給気ファンと接触したものと推定。 給気ファンは3台設置されており、現在残りの(A)(B)2台で運用していることから問題なし。 今後、修理方法を検討。</p>	GⅢ	2月15日
4	<p>【地震影響によるガレキ保管エリア一時保管施設(AAエリア)におけるコンテナの傾きおよび転倒について】 当社社員が地震発生後の点検において、ガレキ保管エリア一時保管施設(AAエリア)に保管されているコンテナ(20ft)の傾きおよび転倒を確認。 応急措置として、当該エリアの「放射線環境サーベイ」、「立入禁止表示・区画」、「関係者への立入規制連絡」を実施。 傾きおよび転倒したコンテナをサーベイした結果、異常がないことおよび周辺への影響がないことを確認。 当該コンテナの復旧対応については、検討中。</p>	GⅢ	2月14日